



福井労働局

厚生労働省 ～ウィズ・ポストコロナ時代のふくい「働く」を支えます～

Press Release

福井労働局発表
令和3年11月2日(火)

報道関係者 各位

【照会先】

福井労働局職業安定部職業安定課

課長 市橋 康彦

課長補佐 山下 裕嗣

地方職業指導官 黒瀬 弘江

電話 0776-26-8609 (内線 5203)

令和2年度 ハローワークマッチング機能に関する業務の
評価・改善の取組結果について

全国の公共職業安定所(ハローワーク)において、平成27年4月から取り組んでいる「ハローワークマッチング機能の総合評価」について、県内6ハローワークの令和2年度の評価結果を公表します。

各ハローワークでは評価結果に基づき、今年度においても継続的な業務改善やサービスの向上に取り組んでいきます。

ハローワークマッチング機能に関する業務の評価・改善に係る ハローワーク総合評価の結果について（令和2年度）

【 福井労働局 】

| ハローワーク | 主要3指標 | | | | | | 総合評価 ※ |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------|-------|--------|
| | 就職件数 | | 充足件数 | | 雇用保険受給者の 早期再就職件数 | | |
| | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | |
| 1 福井 | 5,235 | 4,979 | 5,694 | 5,519 | 1,565 | 1,504 | 良好な成果 |
| 2 武生 | 2,911 | 2,580 | 2,652 | 2,379 | 885 | 889 | 良好な成果 |
| 3 大野 | 1,074 | 900 | 843 | 744 | 318 | 284 | 良好な成果 |
| 4 三国 | 1,393 | 1,317 | 1,560 | 1,474 | 453 | 447 | 良好な成果 |
| 5 敦賀 | 1,437 | 1,265 | 1,295 | 1,148 | 320 | 351 | 標準的な成果 |
| 6 小浜 | 870 | 758 | 825 | 707 | 211 | 169 | 標準的な成果 |
| 合計 | 12,920 | 11,799 | 12,869 | 11,971 | 3,752 | 3,644 | |

※「総合評価」は、主要3指標のほか、地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する指標（障害者、フリーター、正社員等の各就職件数等）を含めて総合的に評価したものです。

【参考】総合評価の評語について

非常に良好な成果《類型1》
グループ内の平均値以上の得点であり、特に良好なもの

良好な成果《類型2》
グループ内の平均値以上の得点であり、《類型1》以外のもの

標準的な成果《類型3》
グループ内の平均値未満で、《類型4》以外のもの

成果向上のため、計画的な取組が必要《類型4》
グループ内の平均値未満で、原則平均値の80%を下回るもの

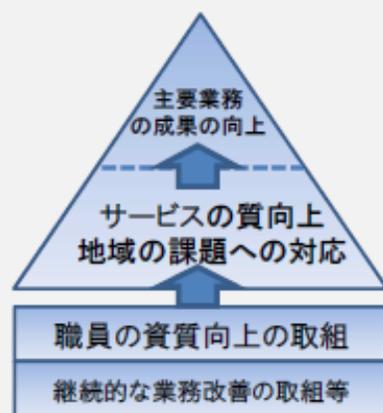
ハローワーク総合評価について

- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。 ※ 令和3年度は、コロナ禍の影響を踏まえつつ、その実施方法を一部変更して実施（→後述（P13～））
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

(1) PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・ 従来の取組(就職率等の主要指標に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、

- ① 業務の質に関する補助指標
- ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標
- ③ ハローワーク毎に、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である所重点項目を新たに設定し、目標管理を実施。【別紙1】P2



短期的な成果の向上だけでなく、マッチング機能を強化する継続的な業務改善の取組等

(2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果について毎月公表
→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- ・ 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価
- ・ ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。

【別紙2】P3



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- ・ 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

(3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ・ ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
- ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
- ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
- ③ 好事例は全国展開
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

次年度以降も
(1)~(3)を実施

【別紙1】ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1)主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職者数
- 求人充足数(受理地ベース)
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 紹介率

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標・所重点項目)

(1)所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職件数
- 障害者の就職件数
- 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーターの件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 人手不足分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

(2)所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 求人・求職者担当制の実施
- 業務改善を図った取組の共有及び実施
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

求職者のニーズが多様化する中、当該ニーズを踏まえた求人の確保及び就職支援に努めるとともに、就職氷河期世代や人手不足の各分野等を対象とする各専門コーナーにおいては、求職者一人ひとりに見合った専門的な支援の実施に重点的に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響により、来所勧奨やイベント等の開催が一定制限される中、感染症対策を講じた上で、求職者担当者制の実施、セミナーやミニ面接会の開催、求人情報の提供等をできる限り行い就職促進を図りました。また、求人充足対策として、毎週、関係職員による求人充足ミーティングを開催し、求人充足に向け、求人内容の検討やマッチング支援等を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

全職員を対象に、専門性の向上や知識の付与を図ることを目的として、四半期毎に集合研修を実施しました。また、質の高いマッチングを心掛け、情報提供件数や紹介件数、就職件数を職員自らが確認・把握・管理して検証・改善を繰り返し行い、必要に応じて管理者から助言等を行うことにより、職業紹介に関する技法の向上に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、長期滞在を避けたい求職者のために、持ち帰り求人情報誌の充実やハローワークにおける支援内容周知用パンフレットの分かり易い位置へのレイアウト変更、職員による来所者端末の操作案内等、来所者の目的に応じて、より利用しやすくなるよう総合案内窓口の強化を図り、利用者サービスの改善・向上に努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者ニーズの多様化とともに、ハローワークの支援を要する求職者の増加も顕著なことから、これまで以上に利用者本位のサービスを展開していくため担当職員の専門性向上を図り、一人ひとりの求職者に寄り添った的確な支援を行うよう更なる業務の円滑な実施及び効果的な運営に努めてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ウイズ・ポストコロナを踏まえた業務運営が求められることから、セミナーや面接会をはじめとした従来の運営方法について精査していくとともに、懇切・丁寧・迅速な接遇に努めてまいります。併せて、今後の雇用情勢についても状況を注視し、時宜に応じた対応を図ってまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

| | 就職件数 | 充足件数 (受理地) | 雇用保険受給者 早期再就職件数 | 紹介率 | ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職水河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数 | 正社員求人数 | 正社員就職件数 | 障害者の 就職件数 | 生涯現役支援 窓口での65歳以 上の就職件数 |
|-------|-------|---------------|--------------------|--------|---------------------------------------------------------------|--------|---------|--------------|------------------------------|
| 実績 | 4,979 | 5,519 | 1,504 | 121.1% | 444 | 15,684 | 2,365 | 369 | 115 |
| 目標 | 5,235 | 5,694 | 1,565 | 130.4% | 370 | 17,456 | 2,614 | 359 | 102 |
| 目標達成率 | 95.1% | 96.9% | 96.1% | 92.9% | 120.0% | 89.8% | 90.5% | 102.8% | 112.7% |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要課題としていますが、米中貿易摩擦及び新型コロナウイルス感染症の影響等により、管内主要産業である製造業をはじめ、幅広い業種の求人数が大幅に減少したことから、求人者支援員を中心に積極的な求人開拓を行ったほか、令和2年8・11・12月には、管内事業所（約450事業所）あてに求人勧奨文を発送する等、正社員求人を含む量的確保を重点的に取り組みました。求職者に対しては、個々の求職者ニーズを踏まえた就職支援に努めた結果、就職件数は目標未達成となりましたが、雇用保険受給者の早期再就職件数は目標達成することができました。

また、求人者支援員を中心に、職業相談部門の職員・相談員が積極的に事業所訪問を実施し、正社員求人の求人開拓に取り組んだほか、作業風景や職場環境等の把握と併せて、事業所や業界の景気動向について聴取する等事業所情報の収集に努めた結果、正社員求人数についても目標達成することができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

令和元年に実施したキャリアコンサルティング基礎研修を踏まえ、令和2年8月には職業相談部門の職員及び相談員を対象に、キャリアコンサルティング実技研修を実施し、キャリアコンサルティングの更なる技能習得、技能向上に努めました。

また、令和2年11月には、近年、精神障害や発達障害を持つ求職者が増加傾向にあることから、全職員を対象に窓口対応にかかる研修を実施し、精神障害者・発達障害者の特性について理解を深めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人の量的確保について、求人勧奨文の送付や電話による求人開拓のほかに、相談窓口において求職者に対して求人リクエストカードの周知徹底を図り、個別求人開拓を実施するなど求人開拓の強化に取り組みました。

また、コロナ禍における取組として、電話による職業相談や来所によらない紹介状の交付などの支援を行い、相談件数・紹介件数の確保に努めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、新規求職者数が減少傾向にあり、これに伴い相談件数・紹介件数も伸び悩んでいる。このような状況下、主要指標（就職件数・充足数・雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成のため、求職者担当者制によるマッチングによる求人情報の提供をより積極的に行うほか、正社員求人や大量雇用求人などを対象としたミニ面接会や事業所見学会を開催するとともに、オンラインハローワーク紹介やオンライン自主応募の活用を図りながら、目標達成に向けて取り組めます。

(4) その他業務運営についての分析等

特記事項なし。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

| | 就職件数 | 充足件数 (受理地) | 雇用保険受給者 早期再就職件数 | 紹介率 | ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数 | 正社員求人数 | 正社員就職件数 | 生涯現役支援 窓口での65歳以 上の就職件数 | |
|-------|-------|---------------|--------------------|--------|---------------------------------------------------------------|--------|---------|------------------------------|--|
| 実績 | 2,580 | 2,379 | 889 | 109.0% | 267 | 7,186 | 1,230 | 70 | |
| 目標 | 2,911 | 2,652 | 885 | 116.0% | 198 | 7,076 | 1,397 | 52 | |
| 目標達成率 | 88.6% | 89.7% | 100.5% | 94.0% | 134.8% | 101.6% | 88.0% | 134.6% | |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、雇用失業情勢の改善のために、主要指標（就職件数・充足件数・雇用保険受給者の早期再就職件数）を中心に業務を推進してまいりました。

就職件数は、目標 1,074 件に対し実績 900 件と目標達成に 174 件届きませんでした。傾聴に心がけた職業相談を実施し、阻害要因の把握に努め、各種就職支援サービスを実施しました。

充足件数は、目標 843 件に対し実績 744 件と目標に 99 件届きませんでした。求人係と職業紹介係が連携を図り、定期的な求人充足会議の実施の他、事業所訪問時や求人受理時に得た情報を毎日のミーティングで情報共有し就職支援を行いました。

雇用保険受給者の早期再就職件数は、目標 318 件に対し 284 件と 34 件届きませんでした。早期のマッチングを中心とした就職支援を行いました。

紹介率は、目標 112.3%に対し、実績 100.1%と 12.2 ポイント目標には届きませんでした。来所勧奨や求職者担当者制の取組、所内連携を図った求人充足会議を実施し紹介率の向上に努め就職支援を行いました。

令和3年度についても、業務の検証を行い、改善を図りながら各種取組を実施してまいります。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の中長期的資質向上に向けて、雇用調整助成金等の助成金制度や個人情報保護等に関する研修等、業務に必要不可欠な事項について計画的に研修を実施し、職員の資質向上に向けた取組を実施しました。

また、日々窓口で起こっている小さな事象を逃さず、適宜、OJTを中心とした即効性のある研修を行ないました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人材不足分野における就職支援として、求人受理を行う求人係が、求人担当者制に取り組み、求人者の求める求職者をマッチングした後、職業紹介係と連携し求人情報の提供・紹介等を行う充足対策を実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

各項目の実績が目標に届かなかったことから、職業紹介基本業務の徹底と職業紹介係によるマッチングにおいて、求人受理を行った求人係が、事業主から直接確認した希望等を考慮した求職者の検索を行う等、求人係と情報を共有したマッチングを推進していきます。

また、雇用保険受給者には、認定日に給付窓口での再就職手当のリーフレットにより具体的な手当支給額を提示し、就職意欲の喚起に努めるとともに、初回認定日までに郵送による求人情報提供を行う等、就職支援の強化を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

基本業務の徹底と傾聴に心がけた相談を実施し、阻害要因を把握し、適切な就職支援及び来所者目線での業務改善及びハローワークインターネットサービス等のオンラインを併用した業務推進が重要となります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

| | 就職件数 | 充足件数 (受理地) | 雇用保険受給者 早期再就職件数 | 紹介率 | ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数 | 正社員求人数 | 正社員就職件数 | | |
|-------|-------|---------------|--------------------|--------|---------------------------------------------------------------|--------|---------|--|--|
| 実績 | 900 | 744 | 284 | 100.1% | 49 | 2,157 | 421 | | |
| 目標 | 1,074 | 843 | 318 | 112.3% | 36 | 2,417 | 479 | | |
| 目標達成率 | 83.8% | 88.3% | 89.3% | 89.1% | 136.1% | 89.2% | 87.9% | | |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用情勢が急激に悪化したことから、求人の確保及び求人求職のマッチング強化に取り組みました。

特に、求人確保対策では、採用意向調査を実施するとともに、求職者の約4割が55歳以上となっていることから、高齢者層にターゲットを絞った求人開拓を実施しました。また、求職者のニーズを踏まえたリクエスト求人開拓などの個別求人開拓を実施しました。さらに、求人者に対して求人条件を緩和してもらうよう提案するなど、積極的なマッチングを行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・職業相談部門のミーティングを毎週開催し、事例検討や情報交換を行いました。
- ・専門性の向上や知識の付与を図ることを目的として、キャリアコンサルティング研修及び助成金研修を実施しました。
- ・仕事内容の理解や事業所情報の蓄積等を図るため、事業所訪問を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・高齢者層の求職者が多いことから、シニア求人一覧表を見やすくリニューアルして、毎週発行しました。
- ・玄関ホールの求人コーナーにおいて、これまでは、掲示のみだった求人票を、持ち帰りが自由にできるように改善しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用情勢が改善し、求人数も増加していますので、求人開拓から求人充足支援へ、徐々に軸足を移していきます。

また、9月からのシステム刷新によりオンライン化が進んでいきますので、ハローワーク利用者との信頼関係を保ちながら、利用者満足度の高い支援ができるよう、「基本業務の充実」に取り組んでいきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光関連を中心に幅広い産業で求人が激減する一方、感染を危惧し積極的な求職活動を控える動きもありました。また、感染拡大防止のため、セミナーや企業説明会等を開催できなかったことなどが業務運営に影響を与えました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

| | 就職件数 | 充足件数 (受理地) | 雇用保険受給者 早期再就職件数 | 紹介率 | ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数 | 正社員求人数 | 正社員就職件数 | | |
|-------|-------|---------------|--------------------|--------|---------------------------------------------------------------|--------|---------|--|--|
| 実績 | 1,317 | 1,474 | 447 | 113.4% | 153 | 3,539 | 609 | | |
| 目標 | 1,393 | 1,560 | 453 | 131.1% | 95 | 3,881 | 649 | | |
| 目標達成率 | 94.5% | 94.5% | 98.7% | 86.5% | 161.1% | 91.2% | 93.8% | | |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要指標（就職件数・充足件数・雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成のためには、前提となる紹介件数を増加させる取組及び就職率増加のための取組を特に重点的に進めることとし、職種別担当者制を実施しました。全職種の求人を9つに分類のうえ、職業相談部門の職員が1分類ずつ担当し、前週に受理した求人を1週間かけてマッチング・情報提供することにより職業紹介への呼び水となり、その結果、紹介率は101.8%となり目標値の92.4%を大きく上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

コロナ禍において、庁舎外における研修・勉強会や外部講師を招いての研修・勉強会が困難であったことから、内部での実務的な研修に注力しました。担当業務に関わらず、業務に直結する助成金制度や雇用保険制度について、研修を行いました。また、オンライン化に伴い、求職者マイページを活用した求人情報提供の操作等、求職者マイページに係る研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

従来は、嶺北地方のみで行われていた障害者の面接会を嶺南地方で初めて開催しました。同じく初めて開催した「障害者雇用事業主セミナー」と同日開催とし、地方公共団体を含めた障害者雇用率未達成事業所等に参加を打診した結果、8社が参加しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染を防止する為、完全予約制のうえ、感染防止対策に十分留意し開催しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

フルタイム求人は、前年度と比較し微減でしたが、パートタイム求人は大幅に減少しました。一方、求職者の高年齢化が進んでおり、パートタイム求人の確保が急務であることから、事業所訪問等による求人開拓等の取組を積極的に行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響により、面接会や企業説明会等のイベントの開催が中止となり、また、求職者に対して来所を勧奨する事も出来なかったことから、能動的な求職者支援が困難でした。また、事業所訪問も制限がある中で、求人開拓や職員の職場見学等の能動的な求人者支援も困難でした。コロナ禍においては、来所を伴わずハローワークのサービスを利用する事が出来る求職者・求人者マイページの活用が重要であることから、今後は、求職者・求人者マイページの周知説明及び開設勧奨に積極的に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

| | 就職件数 | 充足件数 (受理地) | 雇用保険受給者 早期再就職件数 | 紹介率 | ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数 | 正社員求人数 | 正社員就職件数 | | |
|-------|-------|---------------|--------------------|--------|---------------------------------------------------------------|--------|---------|--|--|
| 実績 | 1,265 | 1,148 | 351 | 101.8% | 51 | 4,317 | 515 | | |
| 目標 | 1,437 | 1,295 | 320 | 92.4% | 50 | 4,116 | 530 | | |
| 目標達成率 | 88.0% | 88.6% | 109.7% | 110.2% | 102.0% | 104.9% | 97.2% | | |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

雇用保険受給者の早期再就職促進を当所の重点課題とし、職業相談時におけるキャリアコンサルティングの実施、初回認定日での就職希望条件の再確認の徹底や求人情報等の積極的な情報提供を行うとともに、面接に不安を持つ求職者を対象とした模擬面接を積極的に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見極めつつ、年度後半には人材不足分野等を対象としたミニ面接会を7回開催し、求人充足対策にも取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成及び専門性の向上を図る観点から、ハローワークの職業相談等において必要とされる技能・知識に係る内容について、研修を年9回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

コロナ禍で有効求人倍率は低下したものの、建設・介護等の人材不足分野に対しては依然として求人充足に向けた取組も課題となっていることから、「ジャスト求人マッチング（J KM）サービス」と題した取組により職業紹介担当職員による積極的なマッチングを実施し、人材確保を支援しました。

また、併せて、求職者ニーズを詳細に把握することにより、的確なマッチングや求人条件の緩和等に努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、離転職や求職活動を控える傾向が続いたため、今後はオンライン（マイページ）を活用しての求人・求職の受理及び情報提供など、効率的なサービスの提供を推進していきます。

また、雇用保険受給者や支援が必要な方に対する支援サービスの充実に取り組んでいきます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所では、雇用保険受給者が支給終了までに1件も職業紹介を受けなかった者が約4割となっていたため、比較的緊要度の低い求職者へのアプローチが今後の課題と考え、雇用保険受給者の就職意識向上に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

コロナ禍において、令和2年3月より開始したホームページへの求人情報掲載（一般、パートの2種類・月2回）を継続すると共に所内で行っている求職者に対する支援サービスメニューを取りまとめ見易くするなど、来所者へのサービス向上に努めています。また、令和3年2月よりシニア向け求人情報を月2回作成し、高齢者に対する発信力の強化に取り組みました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

| | 就職件数 | 充足件数 (受理地) | 雇用保険受給者 早期再就職件数 | 紹介率 | ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数 | 正社員求人数 | 正社員就職件数 | | |
|-------|-------|---------------|--------------------|-------|---------------------------------------------------------------|--------|---------|--|--|
| 実績 | 758 | 707 | 169 | 83.4% | 25 | 2,031 | 262 | | |
| 目標 | 870 | 825 | 211 | 91.0% | 26 | 2,280 | 351 | | |
| 目標達成率 | 87.1% | 85.7% | 80.1% | 91.6% | 96.2% | 89.1% | 74.6% | | |

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率